

制作する

草木染めをしよう

1 活動の概要

身近な植物を採取し、染色を行う。

2 活動のねらい

身近にある植物を用いて染色する事で、違った視点から植物を捉える。また、染色の仕組みについて知る。

3 準備するもの

- 染色に使う植物（アカメガシワ・タマネギの皮等）
- 木綿の布
- 各種薬品
- 大鍋、ざる、竹の棒、洗面器、バケツ



染色に使用する植物を採集する幼児

4 活動場所

染色するための植物が採取できるところ。
火や薬品を安全に使用できる場所。

5 活動の展開

(1) 事前の活動

- ・採取した植物で何をするか、子どもたちに伝えておく。
- ・染色に使用する植物を採取する。
- ・グループ毎に採取したものを袋につめる。
- ・染色する布に模様となる割り箸をゴムで止める。

(2) 染色活動

- ・定着液につけ、竹の棒でよく染み込ませる
- ・染色液に入れ煮沸する。
- ・染色したものを取り出してすすぎ、割り箸を外す。
- ・よく乾燥させる。

6 子どもの活動と留意点

○指導者の確保

染色の手順や、実際に染色できる植物の採取など、特に、はじめて活動を行う際には経験を持つ指導者の存在が必要である。

○安全面への配慮

火や薬品を使用するため、子どもたちの動線に配慮する。また、薬品がかかった際など緊急時の対応についても、事前に確認しておく必要がある。その中で、子どもにできることは最大限実行できるように準備をしておく。

○活動に一貫性を持たせる

材料の採取から染色までの工程が長いため、子どもたちが活動の意味を理解し、何をしているのかを認識しながら積極的・主体的に活動に参加できるよう配慮する。また、長い時間をかけてできあがった染色物であるので、子どもたちの思い入れは強くなるので、その思いをしっかり受容する。

7 活動の発展・応用

○施設で…染色あそび 等

本格的な染色道具が揃うのであれば、試したことがない植物で染色できるか挑戦してみる。染色道具がなくても、花びら等を使い染色を楽しむ事で体験したことがより深まるし、植物の性質を知るきっかけにもなる。

○園 で…染色物を使った活動 等

染色した布を使い活動することで、作った作品により深い思い入れを持つことができる。さらに、いつまでも印象深いものとなる。例えば、クッキングの際の三角巾にしたり、お弁当を包む風呂敷にしたりと、日常の中でも使用できる。



染色を楽しむ幼児



染色した布を見せる幼児